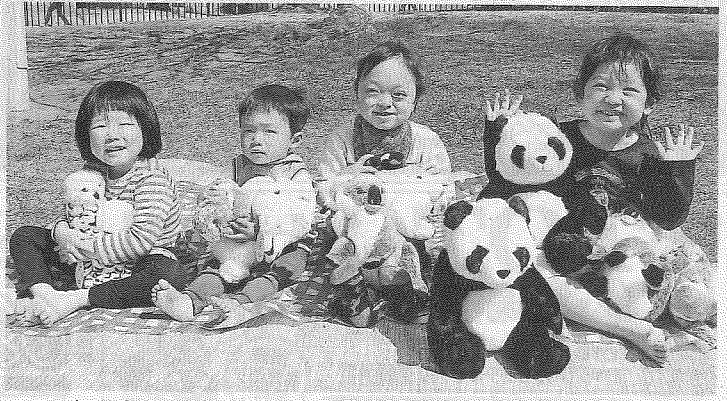


# 「市の鳥」が縁ぬいぐるみ寄贈

横浜の商社 我孫子の保育園など



寄贈されたぬいぐるみで遊ぶ子供ら（我孫子市提供）

我孫子市の鳥「オオバン」のぬいぐるみを昨年発売した横浜市のメーカーが、子供に人気のパンダやコアラなど6種のぬいぐるみ計約190体を我孫子市に寄贈した。

寄贈したのは、雑貨の製造販売などを手がける商社「大洋産業貿易」。昨年10月、同社がオオバンのぬいぐるみをつくった際、我孫子市鳥の博物館の学芸員がアドバイスしたことが縁と

いう。このほかにウサギやシロフクロウ、フンボルトペンギン、シマリスのぬいぐるみが寄贈された。市内の保育園や学童保育など計約30施設に配布されたという。

市の担当者は「新入園児など新しい生活に不安を感じる子供もいると思うが、ぬいぐるみが気持ちを和らげてくれるのでは」と話している。